

健康経営 事例集

生き生き健康事業所宣言

実践企業

17社



全国健康保険協会 群馬支部
協会けんぽ



安全性最優先のため、ドライバーの健康管理には最大限の配慮

お客様からの信頼が最大の財産、だから従業員の健康を重視

栄運輸株式会社は、伊勢崎を拠点に、関東一円と一部隣接県をエリアとする物流企業だ。新鋭車両を数多く備え、大小貨物の輸送と、お客様のニーズに合わせたロジステックシステムを提案し、業績を伸ばしている。

運送業の要はドライバー。日々緊張を強いられる従業員のために、健康管理を最優先事項としている。

点呼時の

健康チェックを徹底化

一般的な定期健診はもちろんだが、二次検査が求められた従業員には、必ず受診する



▲自分で血圧を測れるように血圧計を常設



▲管理者が一人一人直接点呼を行い従業員の健康状態を確認する

ように促している。

日常業務では、始業時の点呼を重視し、ドライバー自身による血圧測定をはじめ、管理者が一人一人の心身の状態を入念にチェックする。また、安全衛生委員会が定期的に各部署を点検し、問題点を指摘して迅速な解決処理を行っている。

生活習慣病の

予防を重視した健康管理

従業員の平均年齢は約45歳、仕事はどうしても時間的に不規則になりがちだ。そのため、特に生活習慣病予防を重点に指導している。禁煙や塩分の取り過ぎなどは、産業医や保健師などによる、データを示した指導により、年々



▲社内にある卓球台で、気楽にスポーツを楽しむ従業員

改善の方向を示している。ドライバーは、一人の時間が長いと、従業員同士の親睦とリラクセスのため、野球部、卓球部をつくって定期的に大会を開いている。

代表の篠原利行社長は「体の健康はもちろんですが、メンタル面の不調も事故につながりやすい。ストレス低減や、心の相談に応じるシステムをつくっています。問題が起らないように、健全な生活、問題を放置せずきちんと対処するように話しています」と語ってくれた。

栄運輸 株式会社

一般区域貨物運送事業 / 自動車運送取扱事業



設立 1989年4月1日
代表取締役 篠原 利行
従業員数 36人
〒372-0011 伊勢崎市三和町2529
TEL 0270-40-5670
http://sakae-unyu.co.jp/



篠原 利行社長

従業員の健康が、お客様からの信頼につながります

健診の結果や、生活習慣病改善が見られた従業員を表彰する制度を設けています。それがインセンティブになればと思います



寺田 一幸さん

健康経営の取り組み

- ①健康診断の受診率 100%
- ②積極的に特定保健指導を受け、問題点を解決の方向に
- ③ストレスフリーを目指し、社内の親睦を重視

始めた経緯

以前労災事故があり、その解決に苦勞した。そうした問題が今後起こらないように、従業員が健康で働きやすい、安全な職場環境づくりを進めてきた。その一環として生き活き健康事業所宣言にエントリーした。